

第一回 「綿貫観音山古墳と朝鮮半島」

講師： 右島 和夫 （当館館長）

●概要

群馬歴博の中核的資料である観音山古墳の副葬品について詳細に見ていくと、朝鮮半島系のものが多いことがわかる。その場合、観音山古墳の豪族が、品物だけを輸入等によって入手した、あるいはヤマト王権から下賜されたと言うよりは、朝鮮半島との深い関わりが背景にあった特殊事情を考えてみる必要がある。

【会場】 群馬県立歴史博物館 視聴覚室

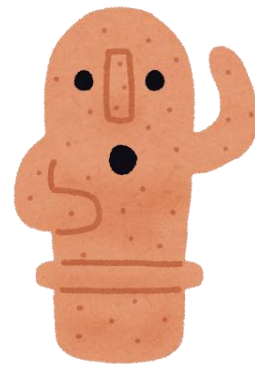
【日時】 5月19日(土) 13:30～15:00

【定員】 先着144名

【参加費】 無料

【申し込み方法】 開催日の一ヶ月前より電話受付

電話 027-346-5522（開館日の 9:30～16:30に受付）



次回のぐんま古墳最前線の予定は以下の通りです。

第2回 「ぐんま・古墳・再発見～古墳総合調査の成果を通じて～」

【講師】 深澤敦仁（当館学芸係長）

【日時】 6/16(土) 13:30～15:00

【受付開始日】 5/16(水) 9:30～